



Sustainable Community Center Japan

NPO

New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2016 年度 活動報告書

2016 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日

2017 年 2 月 19 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2016年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」
 - 1-1. どこカル. ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル. ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル. ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル. ネット運営体制

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 2-3. アグリライフの運営体制

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会

5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メールマガジンリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営

6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2016年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに 「2016 年度の報告と今後の抱負」

皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存知ます。

特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター（SCCJ）は、2016 年度の活動を終えて新たな年度に入ろうとしています。この間に私たちの活動も経験を積み実績を上げて変化してまいりました。こうした変化も踏まえて、今年度の報告を申し上げます。

私たち SCCJ が開発から実装、そして社会的な広がりに向けて長年継続的に努力してまいりました「みあこネット」事業が収束の時期を迎えました。誰でもどこでも使える自由で安心安全なネット環境の構築は、いまや当然の社会的インフラストラクチャーとなってきました。その成果と社会的インパクトは大きいと思っておりますが、すでに多くの新たな技術開発が進んでおり、そのサービスも多様に供給されるようになっております。「みあこネット」はその役割を終えたものと判断した次第です。

その一方では、近年の中心的事業であります「どこカル. ネット」もまた大きく発展し、事業内容を変えつつあります。もちろん単なる電子カルテ事業ではなく、国や地方自治体の健康政策との連携協力の下に、幅広く全国に展開されるようになってきています。そのこともあってか、「どこカル. ネット」会員研修会には、多くの会員の方々のご参加を得ていますし、提携する企業も増えています。本システムについては、毎年のように総務省の調査研究事業の委託を受けて新たなチャレンジをしているところです。今後、個人番号制度の情報連携が進み、マイナポータルが機能し始めようとしているところでもあり、その可能性がさらに広がっているものと思われまます。

この1年間の活動を総括する「京都研究会」は、2017年1月27日に「ICTが拓く持続可能社会」というテーマで開催されたところです。18回目となり改めて継続の力の意義を深く感じているところです。同時に持続可能な地域づくりに向けて、わが国が直面する少子高齢社会化や経済活動の停滞と保護主義的な傾向など、解決しなければならない問題が多々あることも認識させられています。ICTによる技術的、経済的、そして社会的なイノベーションを通じて、よりよい未来を開いて行きたいと考えています。

SCCJ はこれからも持続可能な社会の構築に向けて着実に努力を重ねたいと考えております。この1年間、多くの皆様のご支援を賜りましたことに御礼を申し上げますとともに、今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます次第です。

2017年2月吉日

特定非営利活動法人

日本サステイナブル・コミュニティ・センター

代表理事 新川達郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル. ネットの活動概要

どこカル. ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような（すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような）地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル. ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3つの二次医療圏を経て、現状、50の二次医療圏の地域中核病院に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行っている。

また、2008年10月より、個人の健康履歴（検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー）を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル. ネットのサービス概要

■特徴：いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

【1】 いつでも：ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医（診療所）」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有（一地域一患者一電子カルテ）を行う。（注：ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。）

【2】 どこでも＝ユビキタス：「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者＝住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。

【3】 だれでも：ITコンソーシアム京都（京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成）医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券（無償）」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。

【4】 安心安全：「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ（無線基地局）を利用。また、医療従事者や患者＝住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証（生体認証のひとつ）」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。

【5】 質の高い健康・医療・福祉：共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探求する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル. ネットの各種活動実績

2016年度は以下の活動を実施した。

■「どこカル. ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、スタッフ一同で定例会議を実施。2016年度においては計39回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちな IT スキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2016 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関は 50 病院。

■ 「ポケットカルテ」～個人向け健康情報管理サービス～の普及活動

「ポケットカルテ」は当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (PHR : Personal Health Record) で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008 年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間 (2009 年 1 月時点) で、10,000 ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHS に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在 (2016 年 12 月末時点) 53,786 人のユーザーが実利用している。

2011 年 11 月より開始した「ポケットカルテ電子版お薬手帳」サービスでは、医療機関で発行される領収書に印字された「2次元バーコード (QR コード)」経由で、調剤情報、及び、医療費明細書情報をポケットカルテに取り込むことができる。

2015 年 7 月にリリースした iOS 版ポケットカルテの新たな QR コード読み取り機能により、保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) が推奨する QR コードの読み取りにも対応したため、現在 (2016 年 12 月時点) では、全国 2~3000 店舗の調剤薬局が対応薬局となった。

① ポケットカルテ・すこやか安心カードご利用ガイド新版発行

従来別々の冊子であった、ポケットカルテのご利用ガイドと、すこやか安心カードのご利用ガイドを 1 冊にまとめ、新機能や新端末の説明を含めたものとして、新版のご利用ガイドを発行した。



ポケットカルテ・すこやか安心カードご利用ガイド新版

② ポケットカルテ電子版透析手帳の実証実験

ポケットカルテ電子版透析手帳において、現時点では、透析関連情報を患者自身が入力する必要があり、このため、入力の手間暇や入力の間違いなど利用者からの課題提起があった。これを解決するために、京都大学医学部附属病院腎臓内科と協業し、ニプロ社の透析システムを使用するわたなべ湖西クリニック（滋賀県大津市）の協力のもと、同社透析管理システムと連携して患者自身がデータの入力をすることなく「ポケットカルテ電子版透析手帳」に自動的にデータを転送する仕組みを構築するための実証実験を継続的に実施している。

③ ポケットカルテ情報端末（キオスク端末）運用開始

新たな端末として開発をはじめたポケットカルテ情報端末（キオスク端末）は、2015年4月より京都医療センターでの運用が開始されている。また、2015年5月より名古屋掖済会病院においても運用が開始されている。

2016年度も継続的に利用されている。



写真：ポケットカルテ情報端末（キオスク端末）（左）とその画面（右）

④ 一般社団法人ケーブルテレビ連盟との協業によるケーブルテレビ事業者への「ポケットカルテ」の提供

現在、一般社団法人ケーブルテレビ連盟と協業することで、J:COMグループ以外のケーブルテレビ事業者に対して、自宅のテレビから「ポケットカルテ」にアクセスして自身の受診履歴や薬歴を簡単に閲覧できるサービスを提供するための取り組みを行っている。特に、全国のケーブルテレビ事業者が随時導入を進めている新製品「Smart TV Box」を活用して、受診履歴・薬歴データが自動的にデータ転送される装置として使用できるように、昨年度より継続して作業を進めている。

⑤ 競争的資金による研究や各学会におけるポケットカルテ利活用の広がり

厚生労働科学研究費難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」（田口班）等、競争的資金による研究がなされ、各学会等においてもポケットカルテの利活用が広がっている。

■ 地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少が続いている。このため他の都道府県と同様に、地域医療格差・医師偏在、救急患者や妊婦のたらい回しなど、地域医療における課題が顕在化しつつある。

これらの課題を解決するため、当法人を代表とし、京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市の推薦を受け、平成22年度・23年度に、総務省「地域ICT利活用広域連携事業」に「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」（以下、「地域共通診察券事業」とする）を提案し、採択された。

地域共通診察券事業は、上記「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券発行・健康医療福祉履歴管理・医療圏リソース管理を統合的に提供することにより、地域医療に関わる医療資源（医療従事者・医

療機器・設備)をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用し、質の高い安心・安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としている。



サービス概念図

2012年3月で総務省「地域ICT利活用広域連携事業」は終了したが、自立的に地域共通診察券事業を継続し、対象地域の拡大、広報活動などを行った。2013年12月には京都府京田辺市、2014年には愛知県名古屋市(名古屋掖済会病院)でサービス提供を開始し、「地域共通診察券(すこやか安心カード)」が利用可能な医療機関は、102件(18病院、36診療所、48調剤薬局、2016年12月時点)となった。また、京都府腎臓病患者協議会などと連携し、広報活動を行うことにより、「地域共通診察券(すこやか安心カード)」の実利用者数は22,071名(2016年12月時点)となった。

■ 高知県南国市「総務省平成28年度ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」地域情報化大賞において表彰された成果事例の横展開

高知県南国市が、「平成28年度総務省ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」の公募における、要件2「地域情報化大賞において表彰された成果事例の横展開」に応募し、6月29日採択された。

個人番号カード活用による電子お薬手帳「南国市健康ポータル」事業として進められており、個人番号カードによる認証基盤との連携、ポケットカルテの電子版お薬手帳との連携が行われた。

■ 北海道帯広市「総務省平成28年度補正予算 ICTまち・ひと・しごと創生推進事業に係る提案の公募」平成28年12月2日、北海道総合通信局に企画提案書を提出し、無事受理された。

■ 平成28年度「地域共通診察券(すこやか安心カード)運営協議会」ならびに「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会の実施

地域共通診察券事業の進捗状況の共有と、今後の事業展開等についてのディスカッションを行うため、毎月第3木曜に運営協議会を実施した。また、同日同会場にて、地域共通診察券事業に関連するテーマにおける「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会を実施した。

<地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会 開催日>

平成 28 年 1 月 21 日	第 6 5 回「地域共通診察券運営協議会」 第 5 7 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 2 月 18 日	第 6 6 回「地域共通診察券運営協議会」 第 5 8 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 3 月 17 日	第 6 7 回「地域共通診察券運営協議会」 第 5 9 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 4 月 21 日	第 6 8 回「地域共通診察券運営協議会」
平成 28 年 5 月 19 日	第 6 9 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 0 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 6 月 16 日	第 7 0 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 1 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 7 月 21 日	第 7 1 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 2 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 8 月 18 日	第 7 2 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 3 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 9 月 15 日	第 7 3 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 4 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 10 月 20 日	第 7 4 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 5 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 11 月 17 日	第 7 5 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 6 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 28 年 12 月 15 日	第 7 6 回「地域共通診察券運営協議会」 第 6 7 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会

今後も、「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。



写真：地域共通診察券運営協議会での様子

■ 「どこカル. ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2016年度においては6回の研修会を開催した。

<研修会開催日>

- ・ 2016年1月22日（金） 第68回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2016年3月25日（金） 第69回どこカル. ネット会員研修会

- ・ 2016年5月27日(金) 第70回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2016年7月22日(金) 第71回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2016年9月16日(金) 第72回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2016年11月11日(金) 第73回どこカル. ネット会員研修会



写真:会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コンクールを実施。

第12回目の開催となる2016年度は、全国の小学生から作文が応募され、全国各地偏りなく400字詰めいっぴいに書かれた力作が多く集まった。最優秀賞該当作品はなかったものの、未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていることがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。

■ 2016年の主なイベント一覧

- ・ 01月07日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月14日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月21日 第65回(平成27年度第10回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 01月21日 第56回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 01月22日 SCCJ第17回京都研究会
- ・ 01月22日 【どこカル. ネット】第68回会員研修会
- ・ 01月28日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月29日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 02月04日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月18日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月18日 第66回(平成27年度第11回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02月18日 第57回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 02月19日 【総務省】IoT政策委員会第3回プロジェクトWG出席
- ・ 02月19日 【CATV】テクノフェア2016出席
- ・ 02月25日 【J-LIS】第9回経営審議委員会出席
- ・ 02月25日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月26日 生駒市医療費等適正化推進委員会
- ・ 03月02日 藤森小学校にて医療情報の授業
- ・ 03月03日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月04日 【南砺市】ICT街づくり推進機構の視察
- ・ 03月10日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月17日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月17日 第67回(平成27年度第12回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 03月17日 第58回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 03月24日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月25日 【どこカル. ネット】第69回会員研修会
- ・ 03月28日 「被災者支援システム」全国サポートセンター講演会にて講演
- ・ 03月31日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会

- ・ 04月07日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月13日 【日本CATV連盟】ケーブルID説明会出席
- ・ 04月14日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月21日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月21日 第68回(平成28年度第1回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04月21日 第59回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 04月28日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月12日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月19日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月19日 第69回(平成28年度第2回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 05月19日 第60回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 05月26日 自由民主党政務調査会のIT戦略特命委員会でレクチャー
- ・ 05月27日 【どこカル ネット】第70回会員研修会
- ・ 05月29日 【厚生労働科学研究班会議】平成28年度 田口班 第1回班会議
- ・ 06月02日 (Skype)【日本CATV連盟】ID連携利活用WG第9回会合
- ・ 06月02日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月08日 【J-LIS】第10回経営審議委員会
- ・ 06月09日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月16日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月16日 第70回(平成28年度第3回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 06月16日 第61回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 06月16日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月18日 情報通信月間 in にいはま実行委員会情報通信研究会様主催「情報通信月間 in にいはま」記念講演会講演
- ・ 06月23日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月30日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月07日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月08日 生駒市医療費等適正化推進委員会
- ・ 07月14日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月21日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月21日 第71回(平成28年度第4回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 07月21日 第62回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 07月22日 【どこカル ネット】第71回会員研修会
- ・ 07月28日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月04日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月18日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月18日 第72回(平成28年度第5回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 08月18日 第63回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 08月25日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月01日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月08日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月08日 近畿情報通信講座「ICT利活用の現状と今後の展望」にて講演
- ・ 09月15日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月15日 第73回(平成28年度第6回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 09月15日 第64回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 09月16日 【どこカル ネット】第72回会員研修会
- ・ 09月29日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月06日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例
- ・ 10月07日 【J-LIS】経営審議委員会出席

- 10月13日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 10月13日 (Skype)【日本CATV連盟】ID連携利活用 第1回WGケーブルID推進委員会
- 10月20日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 10月20日 第74回(平成28年度第7回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- 10月20日 第65回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- 10月27日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 11月10日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 11月11日【どこカル ネット】第73回会員研修会
- 11月14日【第3回医療のICTについて考える会】にて講演
- 11月17日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 11月17日 第74回(平成28年度第8回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- 11月17日 第65回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- 11月24日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 12月01日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 12月08日【J-LIS】第12回経営審議委員会出席
- 12月09日 (Skype)【ケーブルID推進委員会】参加
- 12月15日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 12月15日 第75回(平成28年度第9回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- 12月15日 第66回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- 12月19日【松本市議会様】「ポケットカルテ」地域共通診察券「すこやか安心カード」運営協議会視察
- 12月22日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- 12月26日【南国市】市民公開講座にて講演

1-4. どこカル ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
事業運営責任者	中辻 善行	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
國領 二郎	慶應義塾常任理事

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	JBC株式会社
	株式会社アドバンスト・メディア	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
	株式会社アンテリオ	高岡ケーブルネットワーク株式会社
	株式会社医用工学研究所	となみ衛生通信テレビ株式会社

株式会社インスパイア	株式会社ナイス
亀田医療情報株式会社	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
京都電測株式会社	日本システム開発株式会社
株式会社KCN京都	日本デジタル配信株式会社
KDDI株式会社	株式会社ハートネットワーク
サクサ株式会社	株式会社フェイス
サトーヘルスケア株式会社	富士通株式会社
ジャパンケーブルキャスト株式会社	株式会社ミライテクノ
ジュピターテレコム株式会社	メディカル・データ・ビジョン株式会社
財団法人聖マリアンナ会	リコージャパン株式会社

他5社、計33社（50音順、2016年12月末現在）

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより2002年5月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPNを利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施してきた。

プロジェクト開始から2005年3月末までの3年間は、SCCJを運営母体とする実証実験を実施。2005年4月～2008年3月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は2008年3月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008年4月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されてきた。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

「みあこネット」で主として使われていたVPNプロトコルであるPPTPについては、その認証で使用されているMS-CHAPv2というプロトコルに認証情報が漏洩する可能性があることが2012年に明らかにされている。この問題は最近になって深刻であると認識されるようになり、Apple社は昨年秋にリリースしたiOS 10ならびにmacOS SierraにおいてPPTPのサポートを中止した。

<https://support.apple.com/ja-jp/HT206844>

同等のVPNプロトコルであるL2TPなどを用いればよく「みあこネット」方式そのものには問題ないが、現在PPTPを用いて運用している場合はサーバの更新などの対応が求められる。

「みあこネット」の実証実験で最初に用いられていた無線プロトコルであるMISP (MIS Protocol)は、モバイルブロードバンド協会での標準化(2004年)を経て、真野浩氏(現・コーデンテクノインフォ(株))らによりIEEEに標準化提案され、“Fast Initial Link Setup”という名称で議論されていたが、2016年12月に、IEEE802.11ai規格として正式に承認された。

なお、京都大学における「みあこネット」方式の無線LANサービスは2016年2月末をもって終了した。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/miako.html>

学外からの来訪者に対しては、国内外の大学等学術機関所属の教員、学生、研究者に対してはeduroam方式による無線LANをサービスしている。

<http://www.eduroam.jp/>

また、携帯電話3社(NTTドコモ、KDDI、SoftBank)のWi-Fiサービスも学内の一部で提供されている。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/wifi/use/wi-filan.html>

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	岡部 寿男	京都大学学術情報メディアセンターネットワーク研究部門教授

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICT を活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは2005年より実施している「こちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009年6月1日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011年1月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2016-2017年度は2017年1月27日（金）に開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第18回京都研究会 2016-2017

<http://www.sccj.com/kk/2016-2017/>

「ICTが拓く持続可能社会」

【内容】

12:00～ 受付開始

13:05～13:50 「地域を支えるシビックテック」

講演：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/

NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）、

13:50～14:15 「医療機関におけるバリアフリー調査」

講演：横田 健吾（NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター）

14:15～14:40 「IoTが拓く持続可能な農業」

講演：隅岡 敦史（NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事）

14:40～15:25 「人工知能の現状と持続可能社会への貢献」

講演：竹原司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション

最高顧問/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

15:25~15:35 休憩

15:35~16:25 「ポケットカルテとマイナポータル~マイナンバーカードの活用方法~」

講演：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問）

16:25~16:30 ステージ調整

16:30~17:15 【総合討論会】『マイナンバーと情報保護』

コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）

17:15~ 閉会の挨拶：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション最高顧問/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

第2部 分科会（懇親会）：閉会后~19:00

【会場】TSUMUGI

住所：京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館内

電話：075-751-6615

【参加費】有料

・研究会（13:00~17:30）のみの参加

一般：1,000円

SCCJ 会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料

・研究会、懇親会（閉会后~19:00）すべて参加

一般：6,000円

SCCJ 会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：5,000円

【運営体制】

主催：特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター

後援：京都府、京都市、京都新聞社、IT コンソーシアム京都

【定員】220名

5. 広報・マーケティング

Web サイト、プレスリリース、各種メールリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メールリスト運営

SCCJ 関連で、テーマ、目的別のメールリストが 10 数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メールリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメールリストで、設立当初の 1999 年の 190 名から、2016 年 12 月末に登録者は 566 名である。

5-2. Web サイト運営

2016 年現在運営しているサイトは以下の通り。

- ・ SCCJ <http://www.sccj.com/>
- ・「みあこネット」方式普及支援事業 <http://www.miako.net/>
- ・どこカル ネット <http://www.dokokaru.net>
- ・ポケットカルテ <http://pocketkarte.net/>
- ・アグリライフ <http://www.agri-life.net/>

6. 会員について（2016 年 12 月末現在）

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	35	1	36
学生	0	0	0
合計	35	1	36

<どこカル ネット企業・団体会員>33 社

詳細は「どこカル ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター 総会

日時： 2016年2月18日（金） 18:30-19:00

会場： どこカル ネット事務局（京都市伏見区深草枯木町 33-1-303）

2016年度活動報告・収支報告、理事の改選、2016年事業について了承された。

2. 2016年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2016年1月21日
- ・ 2016年2月18日
- ・ 2016年3月17日
- ・ 2016年4月28日
- ・ 2016年5月19日
- ・ 2016年6月16日
- ・ 2016年7月21日
- ・ 2016年8月18日
- ・ 2016年9月15日
- ・ 2016年10月20日
- ・ 2016年11月17日
- ・ 2016年12月15日

3. 事務局体制 （2016年12月末現在）

（1）職員

常勤：2名

どこカル ネット事業運営責任者：中辻善行

プロジェクト・コーディネータ：小川麻理

どこカル ネット事務局スタッフ：横田健吾

どこカル ネットボランティア：4名

4. 理事、監事、顧問 （2016年12月末現在）

（50音順）

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	インフォグリーン株式会社代表取締役社長／株式会社デザイン・クリエイション最高顧問／社団法人コンピュータソフトウェア協会理事・名誉会員
	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	嘉悦大学ビジネス創造学部学部教授
	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
	國領 二郎	慶應義塾常任理事
	辻 正次	兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長

	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事
--	-------	-------------------

以上